

2014年度 放送番組審議委員会議事録

- 【開催日時】 2014年6月3日（火） 15:00～16:20
- 【開催場所】 株式会社ジェイコムウエスト京都みやびじょん局 2F 大会議室
- 【参加者】 10名（中島委員長・堀場委員・金剛委員・中川委員・桑原委員・西田委員
吉田委員・西脇委員・村井委員・山下委員）
- 【社内参加者】 5名（奥田局長・MC 堀江責任者・谷村番組担当・寺西）

【内容】

I 出席者の確認等

- ・ 事務局より。（田中委員欠席、堀江・寺西の紹介及び自己紹介）
- ・ 番組審議委員会開始から今年で20年目となる旨説明。

II 奥田局長挨拶・今年度の活動内容（トピックス）

- ・ J:COMの株主、人員規模、JCN統合等の説明
- ・ J:COM everywhere コンセプト、新サービス説明
- ・ 新企業理念説明

III 番組審議

MC 堀江責任者からコミュニティチャンネル説明

- ・ 「わがまち探偵団」紹介…先日長岡天神界限、今週は、四条大宮周辺を紹介
- ・ 「関西TODAY」紹介…報道にウエイトした内容。6月2日19:58～から生放送。
- ・ 京都ローカル番組。みやびじょんワイド、京都市区民ひろば(昨年7月から放送)

番組視聴（フットスタイル京都）

谷村（補足）

- ・ 今年5月後半放送分を視聴いただいた。

IV 質問・意見交換等

吉田委員：パープルサンガが強い時は視聴率は上がるのか？

谷村：好きな人はずっと視聴してくれる。サポーターは弱い時こそ応援すると思う。弱い時に(応援の)ハガキが届くということもある。

吉田委員：唯一のプロチームなので、定着して放送していくことが京都みやびじょん局として大切

西脇委員：パープルサンガは希望の星。次も見たい、応援したいという気持ちになる。

「いつかは皆の力で！」というメッセージを番組内で出してもらいたい。いつも楽しく見させてもらっている。

村井委員：BS放送で山(山登り)の番組をよく見る。先日J:COMのTVを2台取り付け、家族皆楽しませてもらっている。もっと早く設置しておけば良かったと思うくらいである。

山下委員：日頃、区民ひろばを視聴させてもらっている。身近な内容を今後も取り入れてもらいたい。

谷村：「区民ひろば」は、区民新聞のTV版のようなイメージで区の方に出してもらっている。

西田委員：京都のプロチームが盛り上がっていくにはメディアの力が大きい。パープルサンガから過去数多くの有名選手が輩出されている。この番組が将来のプレミアになっていけば良いと考える。

桑原委員：現在TVと新聞は(視聴者、読者の)一日24時間の時間の奪い合いという状況である。今後TVがどうなっていくかは不安点があるが、このようなサッカーに特化した番組は大切と考える。

中川委員：上手なサッカーを見ると気持ちがいい。プレイが連携しない(続かない)と面白くない。パープルサンガが連勝して、人気が定着してほしいと思う。番組司会の女性の服の色の赤さが少し気になった。

谷村：番組司会の女性の服は、スポンサーであるスポーツ会社からの提供という関係がある。

金剛委員：能の世界でもインターネットの影響を受けている。J:COMのタブレットで視聴できるというのはたいへん便利。日本の文化、京都ならではの番組、スポーツを育てていきたい。

中島委員長：パープルサンガのファンの番組なのか、サッカーファンの番組なのか、どのように番組を作っていくか難しい。番組において中継、すなわち同時性ということは大きな武器。現在の天皇御成婚、東京オリンピックでTVは普及した。

堀場委員：今回の番組を視聴して、限られたカメラ台数で素晴らしく撮影できている。

U18 や小中学生の試合を若いコーチなどに見て、どのようにファンを拡げていくかが大切。このあたりの視点で番組制作を行ってもらいたい。今回の番組内の解説者の解説内容はもう少し工夫が必要。

中島委員長：視聴して感じたことは、J:COM は好意的なスポンサーになっている。パープルサンガが甘えているという気がする。パープルサンガファンはもっと熱くなってほしい。

谷村　　：今後もっと地域に出てパープルサンガファンを増やし、サッカーファンを増やしていきたい。

中島委員長：番組作りの中で、刺激を与えるような作り方が必要と考える。

V 閉会挨拶 奥田局長

以上